

## 新庄信用金庫の環境への取組みについて

当金庫において、環境への取組みを含めた CSR（企業の社会的責任）活動に対する考え方は下記の通りです。

企業の事業継続性(サステナビリティ)は、財務諸表のみではなく、お客様、職員や地域社会等の存立基盤によって形成されるものと考えております。

こうした多面的な配慮が、企業の将来的な発展には必須の条件であり、協同組織である信用金庫は、日頃の本業を通じた事業活動そのものが、CSRや、持続可能な開発目標（※SDGs）に対する活動に結び付いております。

※SDGsにつきまして、詳しくは当金庫のホームページをご覧ください。

### 【NPO法人バイオマスもがみの会による脱炭素化の普及・啓発活動】

森林が8割を占める当地域（山形県新庄市を含む最上地域）において、地域活性化の一環として木質を中心とするバイオマス（生物資源）に着目し、当金庫が中心となってバイオマス/再生可能エネルギー利活用の推進を図っております。

主な活動内容として、

- ① 当金庫理事長が代表を務めるバイオマス普及のためのNPO法人（バイオマスもがみの会）の設立と普及・啓発活動〔2004年6月～現在〕
- ② 市町村長との横の連携として、「最上バイオマスサミット宣言」を各組長と全会一致で採択〔2012年2月〕
- ③ 公益性・公共性の高い事業を目的とした「もがみ自然エネルギー株式会社」を設立し、再生可能エネルギー利活用による地域活性化・地方創生活動を通じた「金融とエネルギーの地産地消」の推進と太陽光発電所の竣工支援〔2014年6月～現在〕



## 【しんきん結の森における森づくり活動】

山形県の森づくりによる二酸化炭素削減、地域活性化等を目指した「やまがた絆の森プロジェクト」において、新庄信用金庫、バイオマスもがみの会を中心として活動を行っております。

このプロジェクトで当金庫は、地域住民、企業が気軽に森づくりを行い、活動成果を実感できる仕組みを構築するためにコンソーシアムを形成し、下記のような活動を行っております。〔2010年5月～現在〕

### ① 「柴草山 絆の森看板・ブナ植樹場所の下刈り」〔2021年9月〕

### ② 「森の材料で木工体験、遊歩道下刈、森の階段補強活動」〔2018年9月〕

161名の参加者で、全長約700mの遊歩道下刈り整備や、里山保全における情操教育効果を目指した活動として、「小さな丸太や小枝」等の材料で木工体験を行いました。

### ③ 「地域の子供たちによる 森のホームステイ事業」〔2018年10月〕

山形県が行っている「森のホームステイ事業」として、子供たちの自宅で2年程度ホームステイした苗木（コナラ・ミズナラ等）を、絆の森の敷地内に植樹しました。当日は参加者約20名で行われ、約70本の苗木の「里帰り」を行ないました。



詳しくは当金庫ホームページをご覧ください。 <http://www.shinjosk.co.jp/>